

第35回長野県フィギュアスケート選手権大会

1. 主催 長野県スケート連盟
2. 主管 長野県フィギュア委員会
3. 期日 平成29年2月18日(土) 時間：14:00開会式 15:00競技開始 参加人数により調整
※参加人数により変更することがある
4. 会場 やまびこスケートの森(岡谷市)
5. 競技規定 I. S. U. 及び日本スケート連盟の競技規定による
6. 競技種目 男女ともシングルスケート
7. 参加資格 長野県スケート連盟登録クラブの登録者
クラス分け課題は別紙のとおり、
8. 表彰 (1) 選手権クラス1位の者に優勝杯、メダル及び賞状、2位から3位にメダル及び賞状、
4位から6位に賞状を授与する
(2) 他各クラス1位から3位に賞状及びメダル、4位から6位に賞状を授与する
9. 参加申込 所定の申込用紙にクラブでとりまとめの上、必要事項記入、参加料(必ず現金書留)
を添えて期日までに申し込むこと
(1) 申込締切日 平成29年1月30日(月) 必着
(2) 申込み先 〒380-0911長野市稲葉575-2山崎弘雄TEL090-2670-4093FAX026-221-2230
(3) 参加料 1人5,000円
(4) 予定要素は2月13日までに 日本スケート連盟マイページサイトにて登録すること
<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>

【 競 技 課 題 】

シングル・スケートイング

性別	クラス	参加資格		時間	課題
男子	選手権	7級以上	2016年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分30秒±10秒	I S Uシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ジュニア選手権	5級以上	1997年7月1日～2003年6月30日の間に出生した者。	2分40秒±10秒 4分±10秒	I S Uジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ノービスA	4級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分30秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	3級以上 (見込み級を含む)	2005年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	4級クラス	4級		3分30秒±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級		3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級		2分±10秒	別記1
	1級クラス	1級		1分±10秒	別記2
	初級クラス	初級		1分±10秒	別記3

性別	クラス	参加資格		時間	課題
女子	選手権	7級以上	2016年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分±10秒	I S Uシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ジュニア選手権	6級以上	1997年7月1日～2003年6月30日の間に出生した者。	2分40秒±10秒 3分30秒±10秒	I S Uジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ノービスA	6級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	5級以上 (見込み級を含む)	2005年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	2分30秒±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	5級クラス	5級		3分30秒±10秒	I S Uジュニア課題 フリー・スケートイング
	4級クラス	4級		3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級		2分30秒±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級		2分±10秒	別記4
	1級クラス	1級		1分±10秒	別記5
初級クラス	初級以下		1分±10秒	別記6	

ペア・スケートイング

	自由選択				フリー・スケートイング
--	------	--	--	--	-------------

※選手権、ジュニア選手権のフリーはショート・プログラムの上位24名で行う

競技課題の内容(No.1)

ショートプログラム 必須要素

シニア・シングル 滑走時間 2分40秒±10秒

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後 最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回の キャメルまたはシット フライング・スピンのランディングポジ ションとは異なるもの 各足 6 回転(合計 12 回転)	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン 8 回転(規定の姿勢で)
	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

ジュニア選手権(2016-2017)

滑走時間 2分40秒±10秒

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ループ	
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・キャメル・スピン	
	空中姿勢と同じ姿勢	
	着氷後 最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回の シット・スピン 各足 6 回転(合計 12 回転)	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット・スピン 8 回転(規定の姿勢で)
	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

競技課題の内容(No.2)

ノービス A プログラム

演技時間 男子 3 分 30 秒 女子 3 分(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大7個	最大6個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	ただし、アクセル系ジャンプは (単独でも、コンビネーションあるいはシークエンスの一部としても)2回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの2種類のみ、 コンビネーションあるいは、シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン ※	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン
	フライングの入りは不可、最少6回転(男子のみ足換えの場合には最小10回転以上) フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション 足換えは任意 最小10回転	
ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シークエンス	

※ ポジションと認めてもらうには2回転以上必要

ノービスBプログラム

演技時間 男子 3 分 女子 2分30秒(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大6個	最大5個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	ただし、アクセル系ジャンプは (単独でも、コンビネーションあるいはシークエンスの一部としても)2回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの2種類のみ、 コンビネーションあるいは、シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスは2つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン ※	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン
	フライングの入りは不可、最少6回転(男子のみ足換えの場合には最小10回転以上) フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション 足換えは任意 最小10回転	
ステップ	コレオグラフィック・シークエンス	
	形状には制限が無いが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOEのみで評価される	
	-	少なくとも1つ支持なしのスパイラル 3秒以上の長さが必要

※ ポジションと認めてもらうには2回転以上必要

競技課題の内容(No.3)

【別記 1】 2級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル 1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記 2】 1 級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル B で評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定する。

【別記 3】 初級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

【別記 4】 2級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル 1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記 5】 1 級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ不可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)最大レベル 1 で評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル B で評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定をする。

【別記 6】 初級以下クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

競技課題の内容(No.4)

シングル・スケートイング

【フリー・スケートイングの減点について】

- ①転倒は1回につき1.0減点される。但し、ノービス課題は0.5、2級以下のクラスの減点は0.2点とする。
- ②滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。

その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
(2級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプでは必要回転数に1/4回転よりは大きい、1/2回転未満の場合はUnder-rotated “<”、
1/2回転以上の場合にはDowngraded “<<”となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 プログラム・コンポーネントの係数(ノービスクラス)
男子は2.0、女子1.6
- ※6 初級・1級・2級クラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)に対する1.1倍は考慮しない。
- ※7 シングル・スケートイングのショート・プログラムにおいて、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)は特別に1.1倍される。

日本スケート連盟ノービス競技会における演技中断の減点

ISU コミュニケーション第1817号(演技の中断)の発表を受け、日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。

例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0

競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合

上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。

2級以下ロークラスにおける演技中断の減点

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.2を減点する。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し1.0を減点する。

採点システムにおいては転倒減点を使用して成績処理をします。